

No.246

2021年
3月号

さくらの

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

展示のご案内

展示期間 3月25日(木)まで

★メイン展示

「春だね！」

今年もそろそろ春の足音が聞こえてくるころ。梅や菜の花など春の花を見かけると、何だか心があたたかくなりますね。

今回の展示は「春だね!」と題して、

- ・春に読みたい本
- ・ワークバランス
- ・春の防災

という3つのコーナーを設けてみました。

ぜひお越しください。



★サブ展示

「春のおたのしみ 本の福袋」

今回は、絵本、小学校低学年・高学年、一般書と4つのジャンルで福袋を用意しています。

普段、自分では手に取らない本との出会いを楽しんでみてください。



雑誌・図書を差し上げます

保存年限を過ぎた雑誌や除籍した図書等を差し上げます。3月21日(日)までは冊数制限を設けておりますので、その範囲内でお持ち帰りください。

期間 3月9日(火)～
(休館日は除く)

図書館開館中

冊数 雑誌…1人3冊まで

図書…1人30冊まで

英字新聞…1人1束まで

絵本も
あります



3月8日(月)まで休館です

先月号でもお知らせしましたが、年に1度の特別整理等のため、**3月1日から8日まで**休館させていただきます。ご了承ください。

3月9日(火)午前10時に開館いたします。

寄贈ありがとうございます

★図書の寄贈

公益財団法人坂本報効会(理事長 坂本嘉廣氏)から図書を寄贈していただきました。

ありがとうございました。

「澁澤龍彦 泉鏡花セレクション」から児童向けの「名作古典にでてくるいきものの不思議なむかしばなし」まで全部で106冊。

新着コーナーや全集コーナーへの配架となります。お楽しみに!



読んでみませんか？

-新着図書のご案内-

(一般)

ひとり暮らしで知りたいことが 全部のってる本

主婦の友社 編
主婦の友社

新生活スタートの季節がやってきました。ひとり暮らしを始める方も多いと思います。ワクワクする一方で、ひとりの生活に不安も出てきます。そんな不安を少しでも解消し、楽しく過ごせるように、部屋探しから、料理・洗濯・掃除の仕方、防犯・防災まで、さまざまな生活の情報がつまった内容になっています。

いまから、ひとり暮らしを始める方も、もちろん、生活を見直したい方もぜひ読んでほしい一冊になっています。

(尾崎)

(一般)

睦家四姉妹図

藤谷治 著
筑摩書房

仕事も恋も活発な長女、体育会系で素直だが男運が悪い次女、シニカルだけど憎めない三女、自由に生きる末っ子。そんな四姉妹の平成の出来事を、睦家を舞台にふりかえりながら展開していく物語。

時は流れ人は変われど、睦家に集う女性たちの絆は変わらない。たくましく生きる四姉妹に元気づけられる1冊です。

(岡村)

(児童)

水とトイレがなかったら？

石崎洋司 作／下平け一すけ 絵
講談社

春樹のおじいちゃんの家は村で最後の“ぼっとな便所”がある古い農家。それが今年水とトイレに変えるようです。でもそうなったら甘くておいしいスイカも今年で最後!! そこから始まった春樹とおじいちゃんのトイレをめぐるお話。おじいちゃんお手製のタイムマシンで18世紀のパリ・紀元前のインダス文明・ローマ、または江戸時代までトイレの歴史を学んでいきます。今では考えられないトイレの常識にびっくり!生きていく中でとても大事なトイレのこと、ぜひ読んでみてください。

(山口)

(児童)

うさぎのモニカのケーキ屋さん

小手鞠るい 作／たかすかずみ 絵
講談社

森の中に、うさぎのモニカと弟のノエルがケーキをつくる「モニカのケーキ屋さん」があります。開店すると、そのケーキをめあてに、お店のテーブルはたちまちお客さまでいっぱい。その時、くまのおじいさんがやってきて…。

差し絵の美味しそうなケーキと動物たちの温かな表情に、心が和みます。甘くて優しさたっぷり!かわいさ満点の物語です。

(樫田)

ソサエティ5.0とGIGA(ギガ)スクール構想

山下量子

「はい、スタート！」
張りつめた空気の中、先生の声が鳴り響くと、一斉にページをめくる音が聞こえる。鉛筆で文字を書きなぐる音が何重にもなってそれに続く。

これは私が小学生の時、通っていた「宿毛塾」での“辞書引き大会”の記憶である。問題として並ぶ言葉を、自分の手で辞書で調べ、自分の手で書き写す。それが一番早かった者には、トロフィーが渡される。私も一度だけ、そのトロフィーを手にした記憶がある。とてもうれしかった。大げさかもしれないけれど“辞書引き大会”ほど、その瞬間に集中したことはなかったし、文字を書くこともなかった。なぜならそれから30年たった今、自分の手で辞書を引くことも、文字を書くことも、ますます少なくなってきたから。

そんな今、国民の一人が3～4台以上のコンピューター端末を持っているのも珍しくないという。確かに私も、デスクトップのパソコンに、iPhoneに、アップルウォッチに、ノートパソコンにと、ネットにつながる端末は4台ある。

社会は大きく四段階に発展したと言われている。ソサエティ1.0と言われる狩猟社会、ソサエティ2.0の農耕社会、ソサエティ3.0の工業社会、そして今のソサエティ4.0の情報社会だ。

内閣府によると、情報が溢れている現在の課題に対してIoT (Internet of Things:モノのインターネット) やAI (Artificial Intelligence:人工知能) などの最新テクノロジーを活用した便利な社会がソサエティ 5.0ということで、今後、ますますコンピューター端末は標準化していくだろう。

それは教育の政策の一つにも見て取れる。その中の一つが、「GIGA(ギガ)スクール構想」だ。

これは2019年12月に文部科学省が発表した一連の教育改革案で、児童1人に1台の学習用コンピューター(タブレット端末など)と高速ネットワーク通信環境などを整備することを目標としていて、高知県でもその整備を進めている最中であると聞いている。

ネットは世界につながる。その世界につながる端末が、児童1人に1台。それは大変素晴らしいことであるとともに、私には懸念もある。

なぜならまず1つ。この情報化の世界では、

間違った情報が溢れているからだ。ネットに出ているからと言って、それが正しいとは限らない。それが正しいか正しくないか、見極める能力を育てることが必要だと思う。私がよく使う「ウィキペディア」すら誰でも編集が出来るということは、その情報の正誤性を誰も確認していない。

そしてもう1つ。ネットにはやはり「過激な情報」や「子どもにとって有害と思われる情報」も溢れている。安易にそのような情報に子どもがアクセス出来るようになれば、勉強のためのタブレット端末が、まったく違う使い方になってしまう。そのために子供用のアカウントでの使用のみに限り、セーフサーチ機能を搭載していくことも重要ではないかと思う。

課金制のゲームやYOUTUBE乱用も同じく。またネットによるいじめの加速につながってもいけない。

私はタブレットの配布をする限り、そういったソフト面の充実も大事なのではないかと思う。端末というツールだけ揃えるだけではなく、その使い方を子どものためにきちんと考え、配布することが大人の義務だと思うのだ。

…そして最も懸念すること。

皆さんも携帯やスマホを使っている人は経験しているのではないだろうか？

パソコンばかり使っていると、ふとしたときに、「漢字を書く」ことが出来なくなっているのだ。漢字が思い出せないのだ。

それはなんだか、脳の退化のように思えてならない。

だからこそ、冒頭に述べた、あの辞書引き大会。あれはすこぶる脳に良い環境だったのだと思う。

自分の手で本をめくり、目的の言葉を目で探し、見つけ、手で文字を書き込む。

昔のお坊さんも写経をしながら、精神統一や学習をしていたわけだし、手で書く効能は大きいのではないかと思う。

だから、タブレットを使いつつも、きちんと漢字や文字を「書く」という習慣や、タブレットに向かうだけでなく、友だちと目を合わせて会話したり、ディスカッションしたりする、そんなアナログなことにも、デジタルに負けないように、時間を取ってほしいなあとそう思う。

最先端のテクノロジーは、メリットだけを見るのではなく、デメリットもきちんと見て、それに対処しながら活用する。それこそがソサエティ5.0の時代には必要になってくるのではないか、私はそう思う。

～新着図書のご紹介～

一般図書



- | | | |
|---|---------------------------------|-------------|
| 1 | 「百田尚樹の新・相対性理論」 | 百田尚樹 |
| 3 | 「おじさんは、地味な資格で稼いでく。」 | 佐藤敦規 |
| 3 | 「スマホで子どもが騙される」 | 佐々木成三 |
| 4 | 「『食事の習慣』を変えれば心が疲れない!」 | 安藤俊介 |
| 4 | 「桂浜水族館公式BOOK ハマスイのゆかいな
いきもの」 | 桂浜水族館監修 |
| 5 | 「ひとり暮らしで知りたいことが全部
のってる本」 | 主婦の友社編 |
| 5 | 「もっと!魔法のでぬきおやつ」 | てぬキッチン |
| 7 | 「nanahoshiの花おりがみBOOK」 | たかはしなな |
| 9 | 「ジャックポット」 | 筒井康隆 |
| 9 | 「灰の劇場」 | 恩田陸 |
| 9 | 「アクティベイター」 | 冲方丁 |
| 9 | 「母影」 | 尾崎世界観 |
| 9 | 「小隊」 | 砂川文次 |
| 9 | 「十年後の恋」 | 辻仁成 |
| 9 | 「刑事の枷」 | 堂場瞬一 |
| 9 | 「国道食堂 2nd season」 | 小路幸也 |
| 9 | 「ははのれんあい」 | 窪美澄 |
| 9 | 「転職の魔王様」 | 額賀滂 |
| 9 | 「テスカトリポカ」 | 佐藤究 |
| 9 | 「それでも、陽は昇る」 | 真山仁 |
| 9 | 「プルーストへの扉」 | ファニー・ピジョン |
| 9 | 「消失の惑星」 | ジュリア・フィリップス |

※左側の数字は図書の分類を表しています。
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

児童図書



- | | |
|---|-----------|
| 「未来からの伝言 SDGsガイドブック」 | 那須田淳 |
| 「世界一トホホな地球科学事典」 | 地球のふしぎ観測室 |
| 「海をこえて虫フレンズ」 | 吉野万理子 |
| 「すごい植物図鑑」 | 稲垣栄洋 |
| 「ヤバいけどおいしい!?せいぶつ図鑑」 | 成島悦雄 |
| 「夢の発電って、なんだろう? おはなしSDGs エネル
ギーをみんなにそしてクリーンに」 | 森川成美 |
| 「水とトイレがなかったら? おはなしSDGs
安全な水とトイレを世界中に」 | 石崎洋司 |
| 「モンスター・ホテルでおばけやしき」 | 柏葉幸子 |
| 「うさぎのモニカのケーキ屋さん」 | 小手鞠るい |
| 「さくら村は大さわぎ」 | 朽木祥 |

絵本



- | | |
|--------------------|----------|
| 「パンドろぼうvsにせパンドろぼう」 | 柴田ケイコ |
| 「ちかてつサブちゃん」 | みやにしたつや |
| 「まだまだまだまだ」 | 五味太郎 |
| 「うみがめのおじいさん」 | いとうひろし |
| 「はらすきー」 | あきやまただし |
| 「おにぎり!」 | 石津ちひろ |
| 「にくにくしろくま」 | 柴田ケイコ |
| 「かわいいうそ」 | Lommy |
| 「このまちのどこかに」 | シドニー・スミス |
| 「もしかして…」 | クリス・ホートン |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、
そちらもぜひご覧ください。

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>
 メールアドレス tosyo@city.sukumo.lg.jp